



スポーツによる 地域活性化

2017.5

スポーツ庁参事官 (地域振興担当)
仙台 光仁



スポーツ庁

1

スポーツによる
地域活性化とは

**スポーツには人を動かす「チカラ」がある。
その「チカラ」を活かして地方を元気に！**

概念・意識を転換

「体育」から「スポーツ」へ！

スポーツのみでなく、「スポーツ+ α 」、「スポーツ \times α 」へ！

スポーツは「お金がかかるもの」から「お金を生むもの」へ！

スポーツによる地域活性化

**スポーツを、景観・環境・文化などの地域資源を掛け合わせ、
戦略的に活用することで、地域・経済の活性化を図る。**

景観・環境・文化・・・地域ならではの特色を掛け合わせることで、スポーツのチカラが最大化。

群馬県みなかみ町

利根川源流の起伏に富んだ環境を活かし、アウトドアスポーツで誘客を図っている。30種以上のアウトスポーツが楽しめるみなかみには、多くの外国人旅行者も来訪。



写真提供：みなかみ町

富山県南砺市（利賀村）

森林、廃スキー場、廃道、古道など、地域ならではの資源を活用した「TOGA 天空トレイル」を開催。住民との交流会や、名物のふるまいなど、スポーツ+村ならではの「おもてなし」で観光誘客を図る。



写真提供：TOGA 天空トレイル大会実行委員会

沖縄県糸満市

「海人のまち」と呼ばれる糸満市固有の文化資源である伝統漁船「サバニ」をスポーツと融合。一般向けの体験型旅行商品のほか、競漕によるチームビルディングプログラム開発やM ICE 商材としても活用。



写真提供：糸満市

スポーツは感動を与えるだけでなく、地域へ社会的効果、経済効果を創出します。



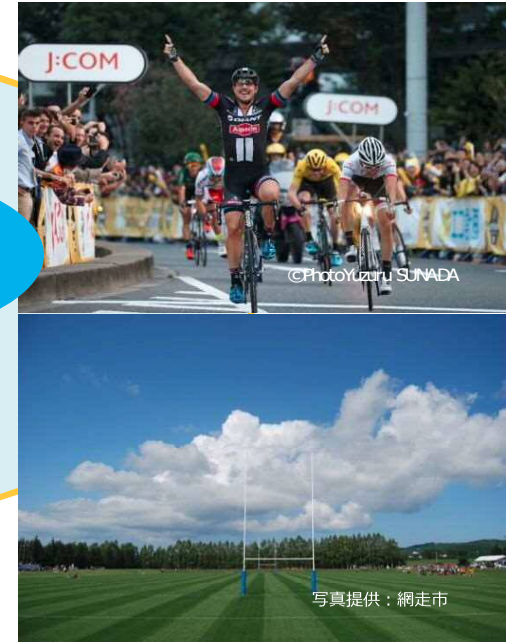
スポーツツーリズム
資源の開発

大会・イベント
の開催

大会の誘致

観戦集客

合宿・キャンプ
の誘致



【地域への社会的効果】

- ・ブランディング・シティプロモーション効果
- ・地域スポーツ人口・関心層の拡大
- ・受入地と派遣国・地域との交流のきっかけに
- ・ローカルアイデンティティ・地域一体感の醸成
- ・認知層・誘客ターゲットの拡大
- ・観光入込の平準化、従事者の雇用安定

【地域への経済効果】

- ・選手団や参加者・観戦者の滞在に係る消費（宿泊・飲食・観光・物販など）
- ・大会・イベント等の参加料収入
- ・付帯イベント実施の場合の事業・物販収入

スポーツによる持続的なまちづくり、地域活性化へ

【静岡県 三島市】地元プロチームと連携し米国バレーボール代表合宿を誘致

- 2020を見据えた人脈形成、シティプロモーション、事前合宿の経験、トップアスリートとの交流による市民のスポーツ機運醸成等を目的に、2015年のW杯時に、米国男子代表チームの合宿を誘致。
- 三島市をホームタウンとする「東レアローズ」との公開エキシビジョンマッチや、日本文化体験機会も創出。
- 取組を契機に、**米国バレーボールチームを相手にホストタウン登録が決定**。また、市内で東レアローズ及びバレーボールが再注目。



《写真提供》三島市

【徳島県】ドイツとのハンドボール・カヌー等の国際スポーツ交流

- ドイツ・ニーダーザクセン州スポーツ連盟と協定を締結し、柔道や剣道等の交流を実施。
- 2015年度より、国際スポーツ交流の活性化、来県者への文化・観光資源のPRを目的に、ハンドボール・カヌー競技関係者の交流を新たに実施。
- メディアを通じ、国際スポーツ交流の取組を積極的に発信し、今後の国際大会誘致等に向けた**県民の機運を醸成**。**ドイツを相手国としたホストタウン登録も決定**。



《写真提供》徳島県

【埼玉県さいたま市】 さいたまスポーツコミッション（SSC）の活動による経済効果

世界最高峰のサイクルロードレース「ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」の共催、各種スポーツ大会の誘致、主催スポーツイベントなど。

- ・H23年10月～28年3月 SSCの活動による経済効果
⇒**約374億円**（期間合計・SSC公表数値）
- ・H27年度 ツール・ド・フランス さいたまクリテリウムの経済効果
⇒**約25.3億円**（主催者発表数値）



【北海道網走市】 環境整備によるラグビー合宿誘致による経済効果

日本一の芝と呼ばれるほどの天然芝グラウンドを整備し、夏の冷涼な気候を活かし、ラグビーを始めとしたスポーツ合宿を誘致。
国内ラグビーチーム合宿のメッカであり、チームに所属しているオーストラリア出身選手・スタッフとの縁を活かし、同国7人制ラグビーチームを相手にホストタウン登録に決定。

- H26年の経済効果
⇒**約5.9億円**（1年間・網走市試算）





スポーツ庁

2

スポーツ庁の取組の ご紹介

スポーツによるまちづくり・地域活性化の推進のためには、
各地域における推進役である「地域スポーツコミッション」の拡大が必要。

地域スポーツコミッション推進組織

以下の4要件に合致した活動を行っている組織を、地域スポーツコミッション推進組織として集約。

＜要件1＞

常設の組織であり、年間を通じて活動を行っている。（時限の組織を除く）

＜要件2＞

スポーツツーリズムの推進、イベントの開催、大会や合宿・キャンプの誘致など、スポーツと地域資源を掛け合せたまちづくり・地域活性化を主要な活動の一つとしている。

＜要件3＞

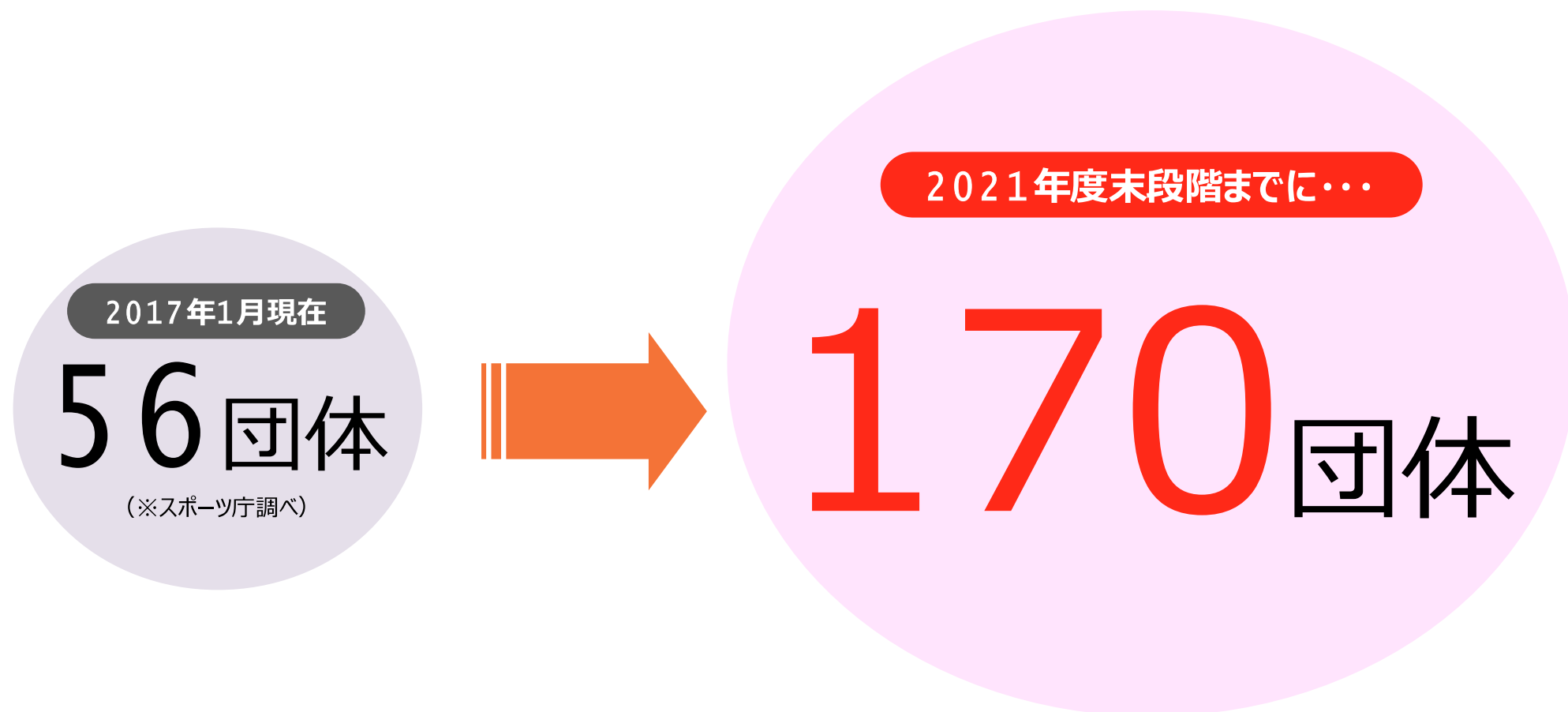
地方自治体、スポーツ団体、民間企業（観光産業、スポーツ産業）等が一体となり組織を形成、または協働して活動を行っている。

＜要件4＞

特定の大会・イベントの開催及びその付帯事業に特化せず、スポーツによる地域活性化に向けた幅広い活動を行っている。

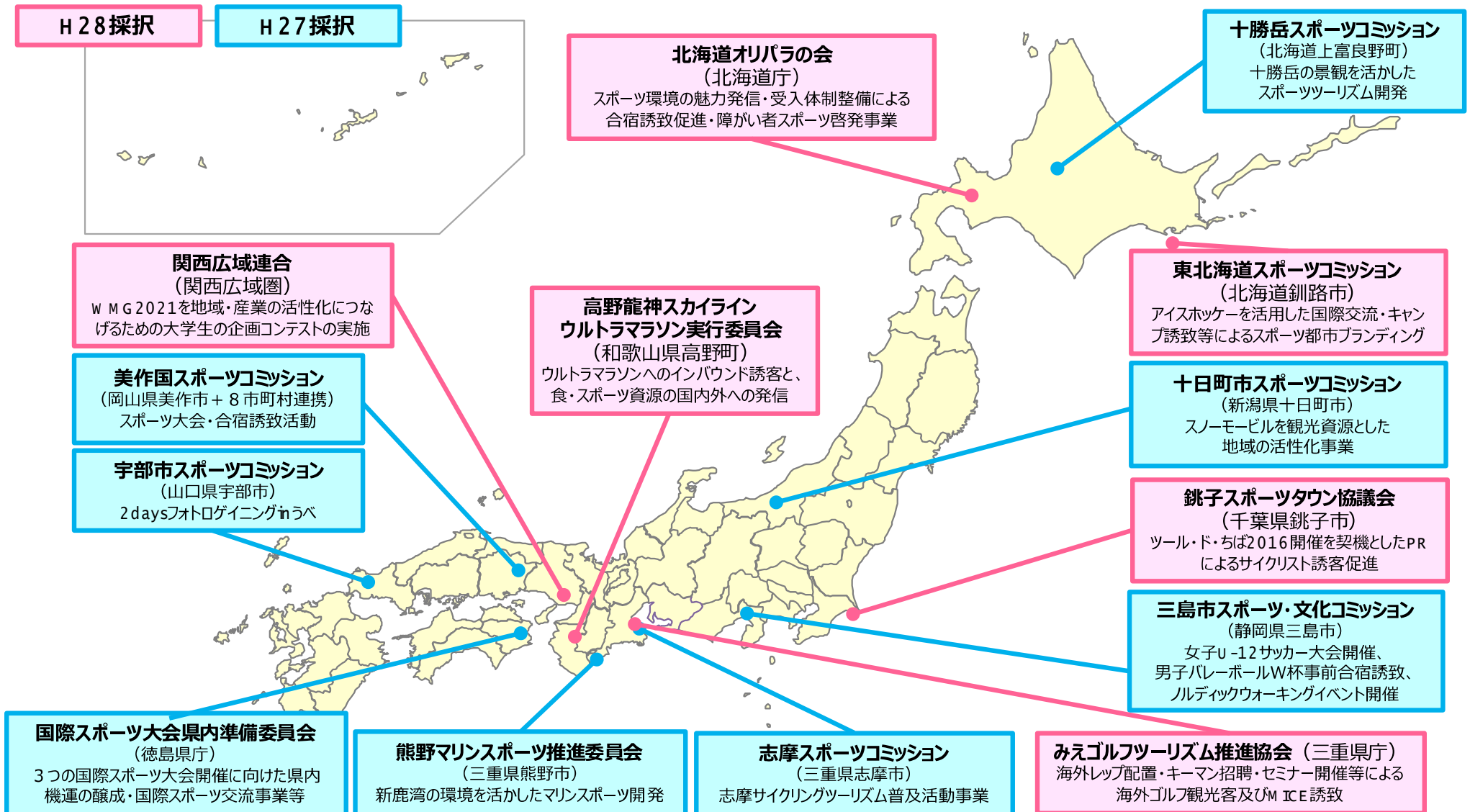
※ 構成員の常勤・兼務は問わない。 ※ 上記の要件を備えていれば必ずしも、組織名称は問わない。

【第2期スポーツ基本計画で掲げる、地域スポーツコミッションの設置数目標】



全国自治体数の約1割に値する、170を目標とします。

スポーツツーリズムによる交流人口拡大、キャンプ誘致・地域間の国際交流の促進、スポーツ・インバウンドの促進・・・など、「地域スポーツコミッション」の活動を支援する事業をH27年度より実施中。H27・28の2か年で14の地域の取組を支援

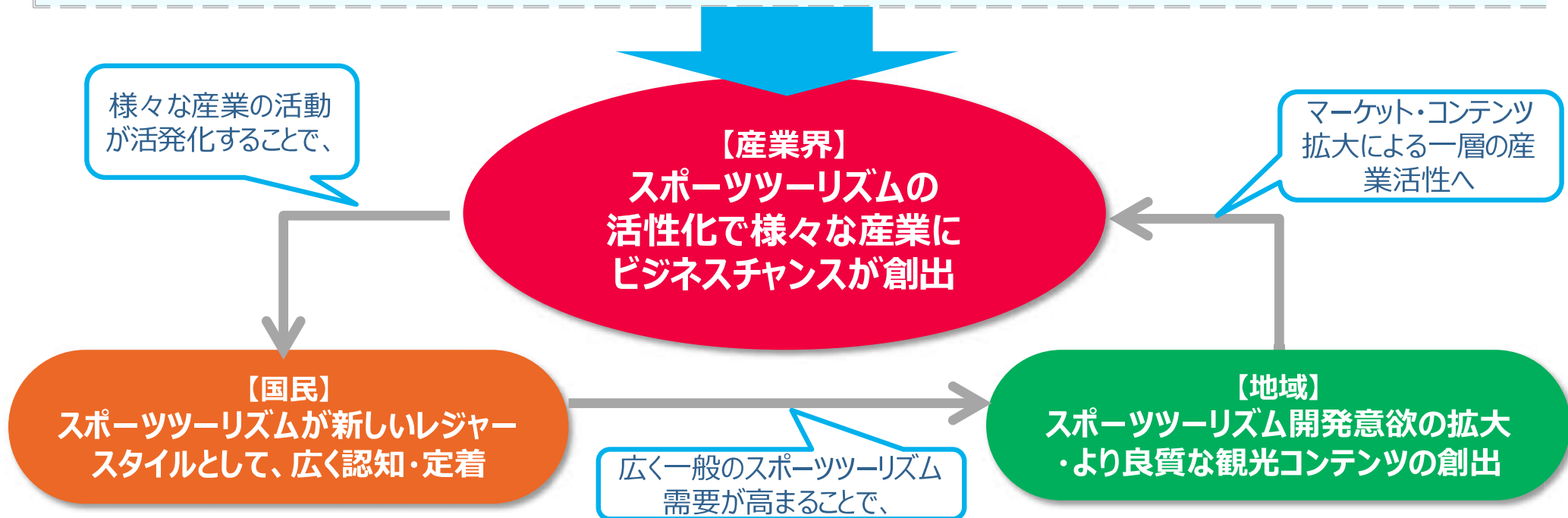


【スポーツツーリズム】

スポーツの参加や観戦を目的として地域を訪れたり、地域資源とスポーツを融合した観光を楽しむツーリズムスタイル。

- ◆ 出発前のスポーツ用品やファッション等の購入、旅先でのイベント参加・観戦など、**通常のツーリズム以上の関連消費が期待できる。**
- ◆ 「スポーツ」という新たな観光の切り口で、**地域の誘客ターゲットも拡大。**

幅広いスポーツツーリズム関連産業の活性化、交流人口拡大による地域活性化の両方に、大きく寄与。

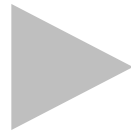


2017年度、官民が連携・協働して、スポーツツーリズムの活性化を図る「スポーツツーリズム・ムーブメント創出事業」を実施

スポーツ庁では、スポーツツーリズムの中でもアウトドアスポーツの振興を2017年度の重点課題と捉えています。

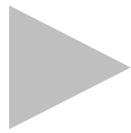
アウトドアスポーツ振興の意義

地方部への 交流人口の拡大



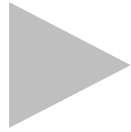
アウトドアスポーツの**最高の環境は地方部**にあり、振興することで地方部への来訪モチベーションを喚起できる。

訪日外国人 旅行者の拡大



日本には世界に誇る、恵まれた自然環境と四季の魅力があり、**外国人旅行者も日本の自然環境に高い関心**を示している。

スポーツ参加人口 ・実施率の拡大



アウトドアスポーツは、安全に配慮し自分のレベルにあった内容を選べば、年齢・体力的な障壁は低く、複雑な技術やルール習得を要しなくても実施可能なため、**誰もがトライしやすいスポーツジャンル**ともいえる。

スポーツ産業 の拡大



旅行関連費用の他に、ウェアや用品・書籍等の購入、ガイド費用など、**幅広い関連消費が創出されやすい**。



三庁連携シンボルマーク

- 平成28年3月に締結した「スポーツ庁、文化庁及び観光庁の包括的連結協定」のキックオフ施策。
- スポーツと文化芸術を融合させて観光地の魅力を向上させ、国内外からの観光客の増加や体験型観光の促進を図る取組を日本全国から集めるため、昨年7月に公募。全44件の応募の中から10件を選入として決定。
- **本年3月、大賞・スポーツ庁長官賞・文化庁長官賞を決定。**

【大賞】 サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」 を核としたサイクルツーリズム (瀬戸内しまなみ海道振興協議会)



【スポーツ庁長官賞】 世界遺産姫路城マラソン (兵庫県姫路市)



【文化庁長官賞】 スポーツ流鏝馬大会 (青森県十和田市)



< 入選 >

- 東北風土マラソン&フェスティバル (東北風土マラソン&フェスティバル実行委員会)
- J2水戸ホーリーホック ベトナムからの観戦・応援ツアー、ベトナムメディアによる日本の観光地・文化の発信 (茨城交通株式会社)
- 官民連携で台湾ランナーと新潟文化をつなぐ～スポーツを通じた交流のかけはし～ (新潟市文化・スポーツコミッション)
- 熊野古道伊勢路を歩く ～伊勢から熊野へ二大聖地を結ぶ巡礼の道～ (三重県)
- あわ阿波おどり2016～w orld Awa Dance Open～ (W ADO 実行委員会)
- 沖縄海人スピリッツ!!!とまん帆掛 (ふーかき) サバ二乗船体験 (糸満市観光協会)
- 日本の伝統文化とスポーツの融合「和太鼓アクティビティ」! (太鼓センター/TAIKO-LAB) (京都・青山)

スポーツによる地域活性化を支え、牽引した方々の、
様々な苦勞や成功のポイント等を、ドキュメンタリーまんがで紹介

「まんが スポーツで地域活性化」事例集（全12巻）

- ラグビー合宿の聖地へ
（北海道網走市）
- バスケで秋田を元気に
（秋田県秋田市）
- 市民が主役の交流拠点・アオーレ長岡
（新潟県長岡市）
- マリンスポーツでまちおこし
（三重県熊野市）
- 瀬戸内しまなみ海道 国際サイクリング大会
（愛媛県今治市）
- スポーツコミッションで合宿誘致
（佐賀県）
- 日本初のバレーボール専用体育館・オガールベース
（岩手県紫波町）
- 世界が注目するアウトドア天国・みなかみ
（群馬県みなかみ町）
- サッカーで地域を盛り上げる
（長野県松本市）
- 「自立と連携」スポーツを核に地域に雇用を生む
（島根県出雲市）
- Japan Open 飯塚国際国際車いすテニス大会
（福岡県飯塚市）
- 大分国際車いすマラソン大会
（大分県大分市）

◆ まんが制作には、地域の人材を活用

上記12地域または近隣地域に所在する専門学校等で、まんが制作を専攻している学生等がまんがを取材・制作。

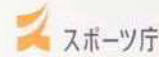
■ 日本生命・スズキの2社が協賛

学校への寄贈に対し、日本生命保険相互会社・スズキ株式会社が協賛。

中学校・高校等、全国約2万2千校の図書館へ寄贈

未来を担う青少年たちに、地域活性化の重要性を訴求し、人材育成のきっかけとします。

「まんが スポーツで地域活性化」 事例集
完成お披露目会



「まんが スポーツで地域活性化」事例集 完成お披露目式

2017年4月19日、協賛を頂いた日本生命保険相互会社、スズキ株式会社、掲載された取組を各地域で進められた方々、まんがの作者となった学生等をお招きし、本事例集の「完成お披露目会」を、文部科学省にて開催しました。

また、4月24日～5月12日にかけて、掲載事例となった12の市町村の属する道県の教育長に対し、「寄贈式」を行いました。

事例集は**5月中旬より、全国の中学校・高校等の図書館へ順次納入**となります。



「まんが スポーツで地域活性化」事例集 12冊セット 12道県での寄贈式（写真は三重県教育委員会にて）

学校図書館への寄贈とは別途に、本事例集をご購入いただくことも可能です。



購入を希望される方は、
オンライン書籍販売サイト「**honto**」にて
「**まんが スポーツで地域活性化**」
と検索下さい。



スポーツ庁

3

おわりに

これからの5年間は、国際メガスポーツイベントが連続して国内で開催。開催地としての盛り上がり、合宿・キャンプ誘致、ムーブメントに乗じたイベントの開催・・・等々。全国各地に、スポーツによる地域活性化のチャンスが到来。

2017年

2017 冬季アジア札幌大会 (2月・北海道札幌市・帯広市)

2018年

第16回世界女子ソフトボール選手権大会 (7-8月予定 千葉県)
女子バレーボール世界選手権2018 (開催時期・地域未定)

2019年

世界柔道選手権大会 (8月 東京都)
ラグビーワールドカップ2019 (9-11月 全国12都市)
女子ハンドボール世界選手権大会 (12月 熊本県内)
バレーボールワールドカップ2019 (開催時期・地域未定)
世界フィギュアスケート選手権大会 (3月 埼玉県さいたま市)

2020年

東京オリンピック・パラリンピック競技大会 (7-9月 東京都ほか)
FIFA フットサルワールドカップ (愛知県が立候補中)

2021年

ワールドマスタースゲームズ2021 関西 (5月 関西地域)
世界水泳選手権大会 (7-8月予定 福岡県福岡市)

2026年

第20回アジア競技大会 (2026年9-10月予定 愛知県・名古屋市共催)